

南鳥羽地区における藻場の現状と 藻場再生への取り組み

南鳥羽地区藻場保全活動組織

鳥羽について

4つの有人離島

- ・菅島
- ・答志島
- ・神島
- ・坂手島



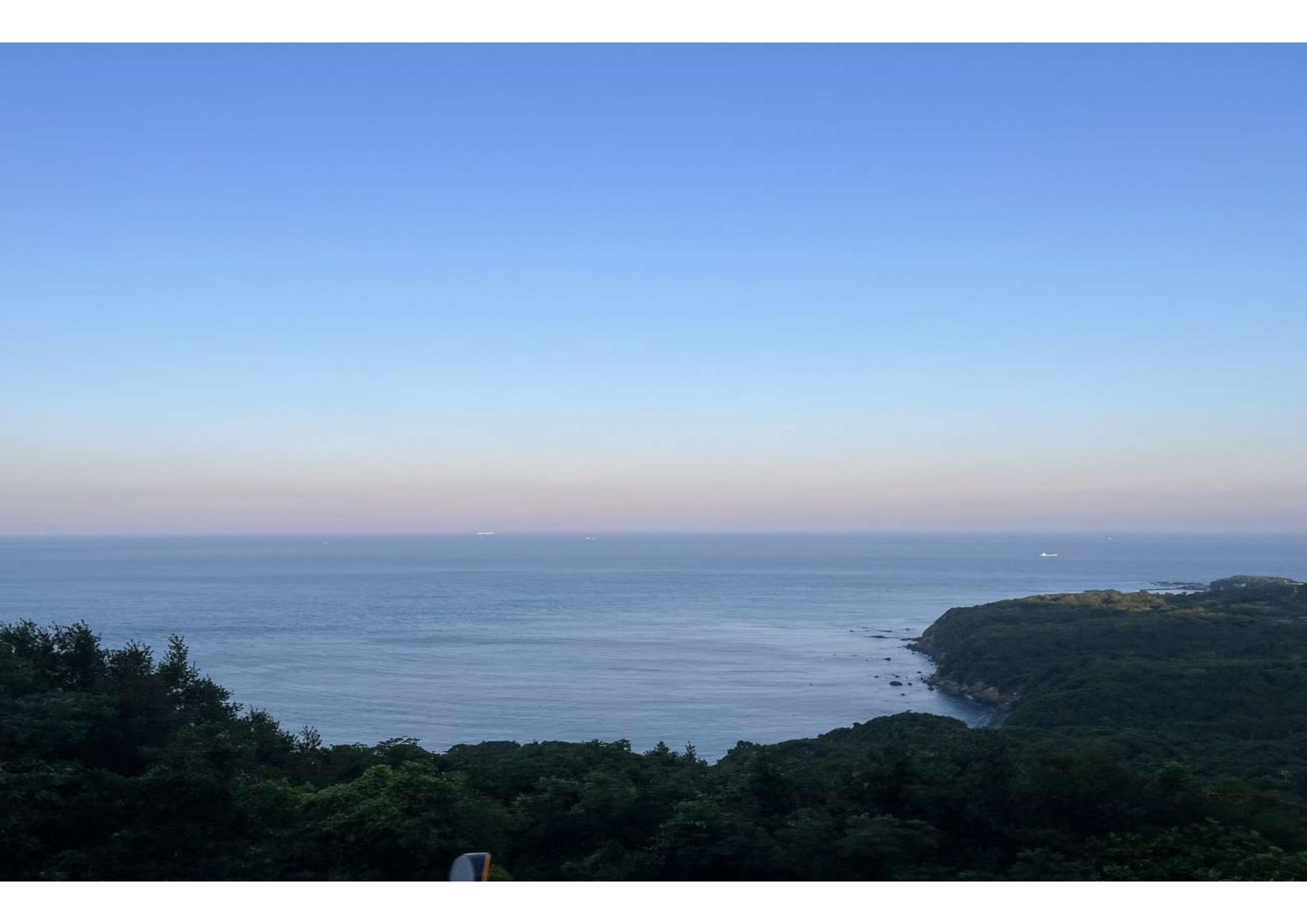
出典:一般財団法人伊勢志摩国立公園協会



いせしま

伊勢志摩国立公園







出典:毎日

地域の特性

- ・「日本一海女さんの多いまち」
- ・リアス式海岸

海藻の種類	アラメ・カジメ場、ガラモ場、アマモ場
海藻の利用	アラメ・テンクサ・ノリ養殖・ヒジキ・アカモク・アオサ等
漁業	刺網、海女漁、一本つり、たこつぼ、小型底びき網、船ひき網・ぱっち網漁業

地域の藻場の現状



2012年2月撮影

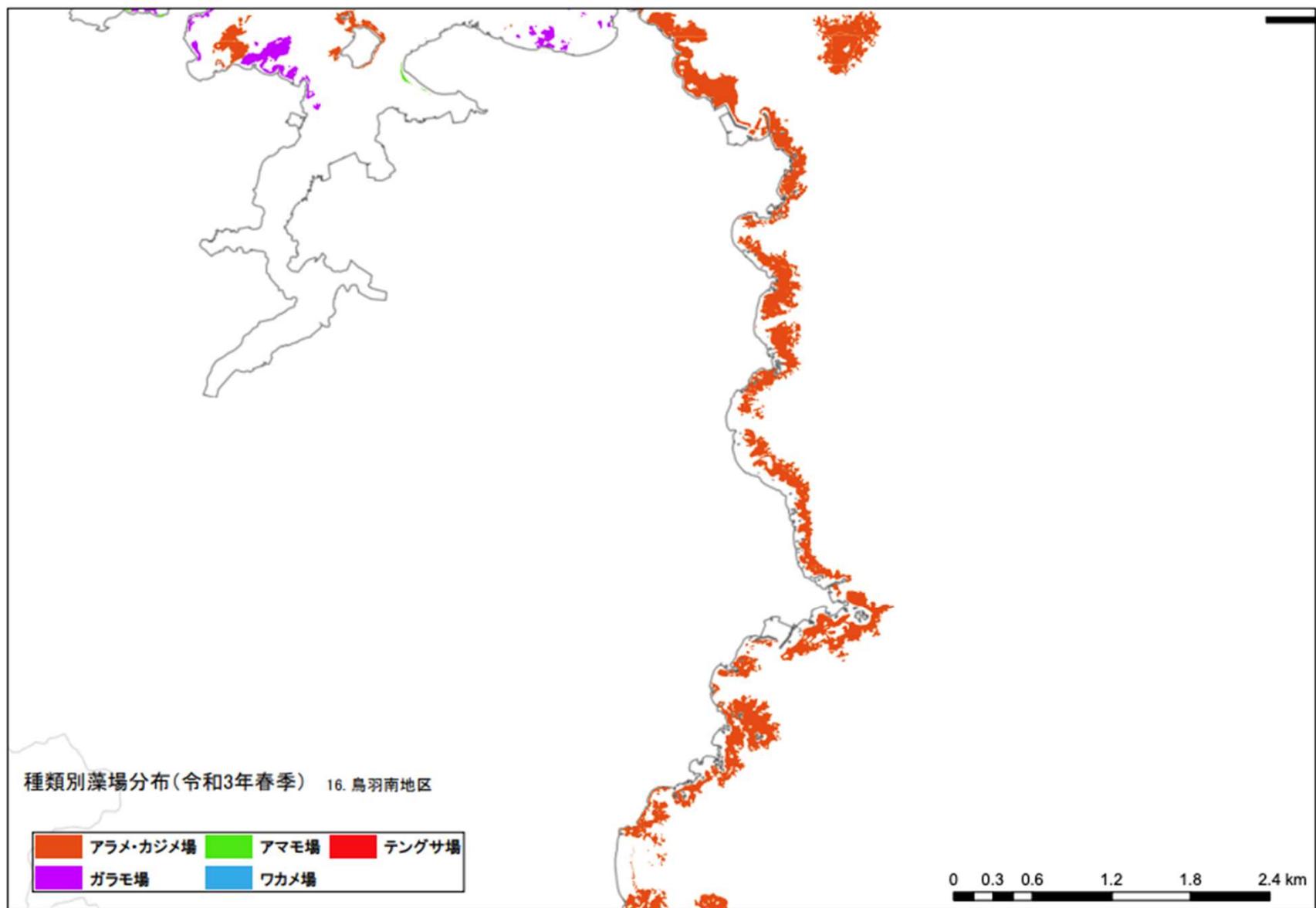


2022年10月撮影

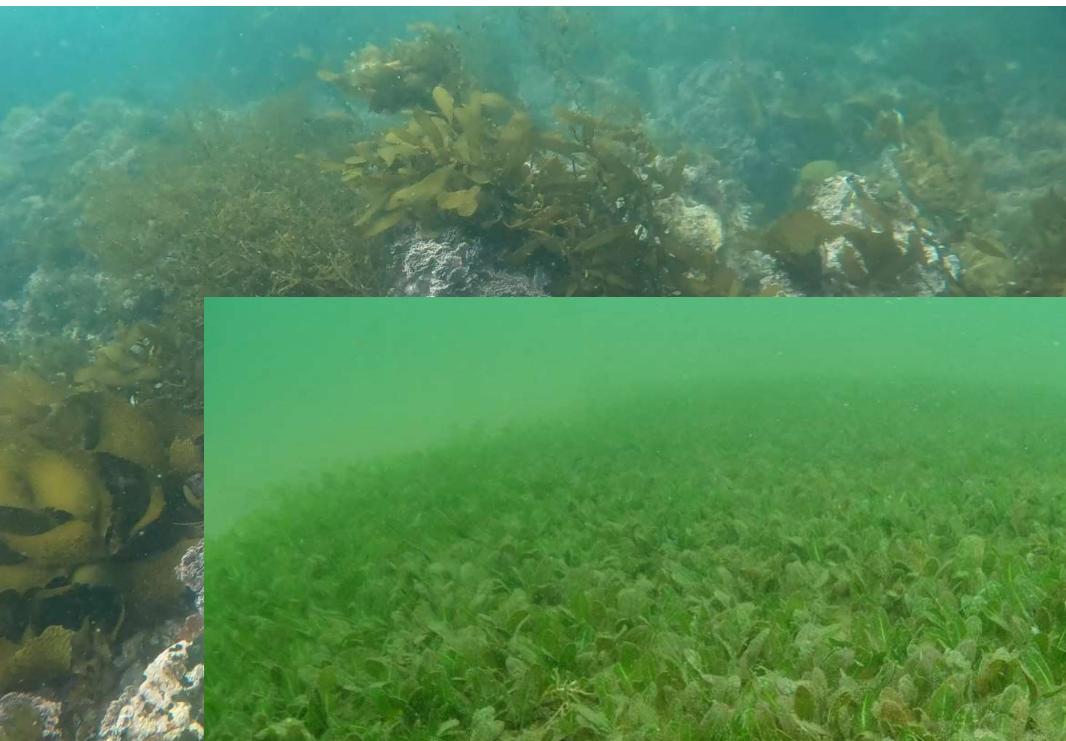
引用「sustainableTOBA」<https://toba.or.jp/sustainability/facts/decrease-in-seaweed-b>

「ナガシマモク」





(三重県 藻場分布調査)



食害生物とされている生物



ガンガゼ

ムラサキウニ

アイゴ

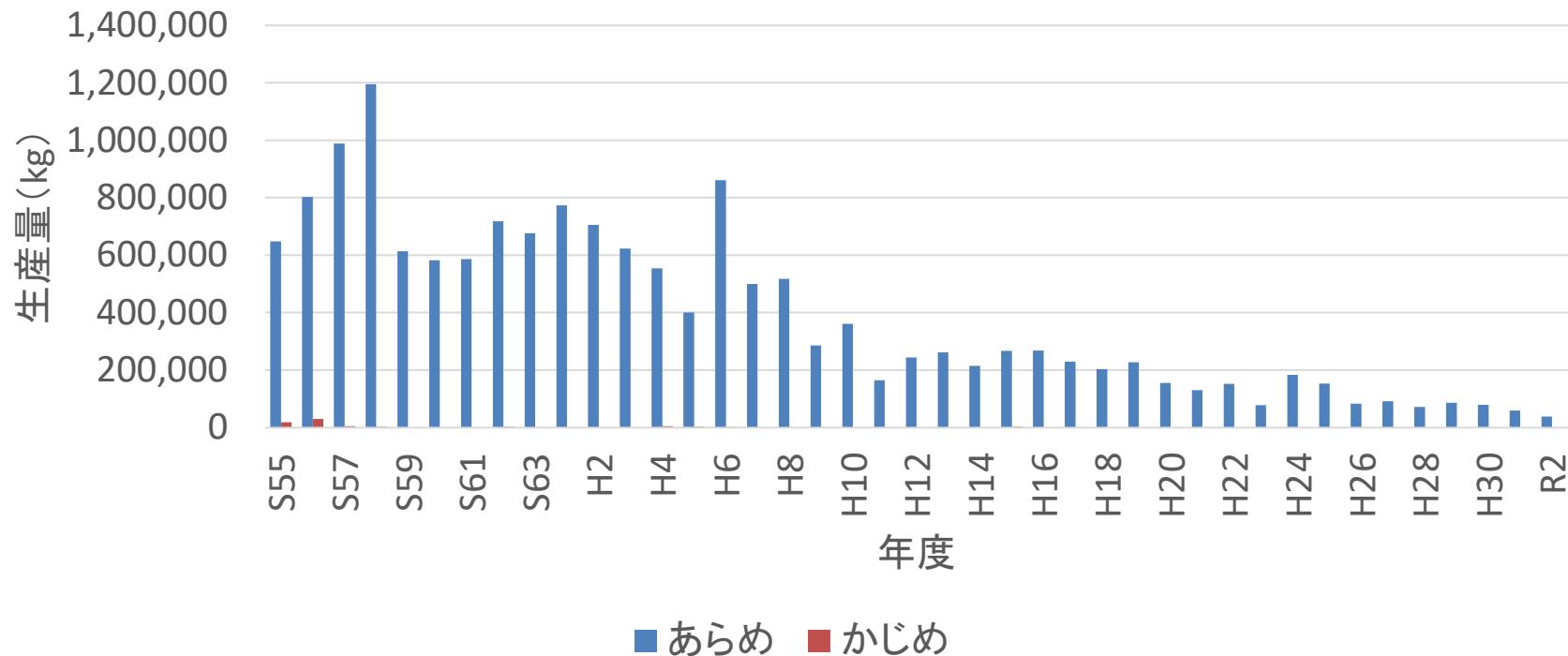


保護網



漁業への影響

三重県のあらめ・かじめの年度別生産量



各地で海中林が消滅しており、あらめ・かじめの生産量は年々減少している。昭和58年の1195 tをピークに、

令和2年は38 tまで減少。

みえぎょれん販売(株)提供データより

他の生物にとっての海藻

- 藻場
 - アマモ場
 - 海草のアマモを主とする藻場
 - 浅い砂泥質海底に密生したところ
 - 魚の産卵場、稚仔魚の揺籃等

調査と活動の報告

- ・環境モニタリングと食害生物の駆除を実施
- ・海女さんへのヒアリング
- ・藻場調査の方法
 - 工夫した点: 被度調査を簡略化し、沿岸を広く調査した

漁業者との連携

- ・海女さんとのウニ駆除
 - 工夫した点: 海女さんたちみんなで一斉にウニを回収



藻場の利活用

- 里海事業 藻場～生物多様性を地域資源として活用する
 - 海洋教育
 - 海女観光プログラム
 - →持続的に地域で藻場保全・保護活動ができる仕組みづくり

伊勢志摩国立公園は、民有地が96%以上。
人と自然の関わりを知ることができる世界的にも珍しい国立公園です。



本の里海

三重県鳥羽市における
の里海づくり事業実践と海洋教育～

一般社団法人三重大学・一般社団法人相差海女文化運営協議会(相差DMO)・鳥羽商工会議所
・漁業と観光の連携促進協議会・鳥羽市教育委員会・菅島の未来を考える会
・水産研究所・鳥羽市立海の博物館







